

第14単元 割合①

問題番号	配点	解 答 (許容)	評価規準	つまずきと指導の手だて
①	20 (各5)	① 15% ② 30% ③ 78.4% ④ 120%	[知技]割合を表す小数と百分率の関係を理解している。	百分率は、割合を表す0.01を1%とする割合であることを確認する。
②	20 (各5)	① 0.2 ② 0.09 ③ 0.036 ④ 1.35	[知技]割合を表す小数と百分率の関係を理解している。	百分率は、基にする量を100とした割合の表し方であり、割合の1が百分率で表すと100%になることを確認する。
③	20 (各10)	式 $60 \times 0.85 = 51$ 答 51人	[知技]基にする量と割合から比べられる量を求めることができる。	数直線などを活用し、比べられる量は、基にする量×割合で求められることを確認する。
④	20 (各10)	式 定価を□円とすると、 $\square \times 0.7 = 1050$ $\square = 1050 \div 0.7$ $= 1500$ ( $1050 \div 0.7 = 1500$ ) 答 1500円	[知技]比べられる量と割合から基にする量を求めることができる。	数直線などを活用し、基にする量を□としてかけ算で立式した後、□にあてはまる数を逆算で求めさせるようにするとよい。
⑤	20 (各10)	ろう下…17 体育館…15	[知技]与えられたデータから各部分の割合(百分率)を求めることができる。	場所別のけが人の数の割合は、合計の41人を基にして求めればよいことを確認する。割合の求め方が分からない児童には、数直線などから立式させる。

第14単元 割合②

問題番号	解 答	評価規準	つまずきと指導の手だて
①	① 3132 ② 0.36 ③ 0.36 ④ 0.36 ⑤ 0.36 ⑥ 0.36 ⑦ 8700	[思判表]具体的な場面に即して、割合の問題を解決する手順を説明している。	理解の不十分な児童には、文章をよく読むようにさせ、数直線と対応させて考えられるように理解させる。
②	① 0.03 ② 0.03 ③ 0.03 ④ 0.03 ⑤ 18 ⑥ 18		

▶思考力・判断力・表現力の評価

評価	A	B	C
正答数	10問以上	9～6問	5問以下

▶主体的に学習に取り組む態度の評価

評価	A	B	C
選択内容 記述内容	3項目とも意欲的であり、感想とさらに学習したいことの2つの観点で書かれている。	3項目ともおおむね意欲的であり、感想とさらに学習したいことのどちらかの観点で書かれている。	どの項目も消極的であり、感想やさらに学習したいことが書かれていない。